

【出席者】

- ・名倉 和裕 (PTA 会長)、伊藤 良孝 (中公民館館長)、安藤 雅子 (町議会議員)、古川恵里子 (町主任児童委員)、日比野憲輔 (元 PTA 会長)
- ・校長、教頭1、教頭2、教務主任、生徒指導主事

(全体進行：教頭)

1 伊藤会長挨拶

- ・キャンプ場での小学生不明事件、気の毒で悲しいニュースがあった。学校内でも心配な出来事があったら出してほしい。運動会が終わって落ち着いたところだと思う。

2 校長挨拶

- ・運動会開催に関わって、熱中症と台風接近との戦いだった。実際には平日開催になった。
- ・統合60周年記念運動会となり、ドラゴン号の新聞を発行予定。
<ドローンによる運動会当日の様子について撮影動画を視聴>

3 協議・交流 司会：伊藤会長

○御嵩小 統合60周年記念運動会について

○今年度の開催日の反省から、2週間ずらした練習期間と10月開催についてご意見をいただく。

- ・運動会の時期を決めると行事が重なり平日開催もやむなしとするか？ 安全を考えると平日開催が最適か。
- ・あらかじめ、年間の行事予定の中に入れていけばよいのではないかと。早めに事前に平日開催として予定しておけばよいのではないかと。
- ・平日開催はありますか？ 祖父母の楽しみであることも考慮していただけるとよい。
- ・子どもの安全を考えると少しでも涼しい時期がいいのではないかと。

○運動会についての反省

- ・平日開催の当日に、向陽中と駐車場利用ができたことで小中の連携がよく見えた。
- ・フライングの繰り返しや、バトンの受け渡しの様子から、練習不足の場面も少し見られた。練習が十分にできる時期が大切である。
- ・競技についてあっさりした種目(種目数)を感じた。給食後1種目でも行ってよいのではないかと。もう少し種目をやってもいいのではないかと。
- ・入退場のテンポがとてもよかった。

○保護者による学校評価と、質問・提言に対する回答について

- ・小言やお叱りの学校評価が多かった昨年だったが、今年度は提言というスタイルが多かった。
- ・細かくアンケートを取るととげとげしい提言もある。
- ・(この学校評価は、)今後の学校に対するPTAのあり方を問うものである。

<学校より>

- ・実際、担任にとっては厳しいと感じる書きぶりもあるが、書いてもらうことで学校が気付くことも多くある。
- ・保護者の方に当事者意識をもっていただくことが重要であると考えている。
- ・年々の経験で保護者の意識が変わっていくのではないかと。
- ・郷土愛(ボランティア活動)の低さについて、郷土愛の精神が将来何に繋がっていくのかを意識して子どもたちに指導して欲しい。→この郷土愛を育てるために学校運営協議会があると考えている。
- ・郷土愛を育てていくことに関して、親の参加を期待したい。

○御嵩小えがお応援隊への登録について

- ・行事があるたびに登録をお願いし、その場で登録をしてあげるようにするとよい。
- ・どの人がどの分野に応援できるのかを知ることができるとよい。
- ・応援隊に呼びかけをする配信のタイミングに難しさがある。
- ・保護者の中からもボランティアを募ってもよいのではないか。保護者も地域団体からも祖父母からもどなたでもいいよということを発信する。
- ・ボランティアの受付を公民館としてもよい。
- ・児童の登下校などの地域の見守り活動は、本来保護者がするものではないか。保護者があって地域ボランティアがあるということ、認識していただくようにするとよい。

○全国学力・学習状況調査について

- ・自分の意見を構築させ、自分の意見として述べることを大切にしたい。そのためにディベート的な授業に慣れさせていくようにするとよい。
 - ・知識を覚えるのではなく・・・、
機械（コンピュータ）に負けない子どもしていくために、自分の考えをもたせるようにする。
授業以外でも学んでいける地域にしていく。家庭の中でも学んでいけるようにする。
- <学校より>
- ・例えばドリル学習について、最低限度として1周りはやることにして、その後は個の学習状況に応じて家庭学習を進めるなどして、個に応じた学習指導を行っていく。
 - ・ホワイトボードを使ってグループ発表や意見交流を進めていく。将来の ipad を使用した学習に繋がってきたい。

4 今後の予定

- ・2月27日（木） 13:00～16:30 6年生を送る会参観 を含む
（※臨時での招集もあります。）